

【ねがいはましては】

平成24年12月20日

KYOWA SCHOOL

第266号

「精一杯の失敗」

ある日、受験生であるMちゃんが素朴な質問をしてきました。

「先生、失敗したことがありますか。」

その質問にすぐさま過去を振り返る私……。ぼつりぼつりと場面が浮かんでいきます。しかしその瞬間、失敗したことが「今」に繋がっていることに「はっ」としました。たしかに失敗は数限りないほど多くしてきました。でもそのつながりが「今」に通じていること……。その失敗がなければ「今」この瞬間もないこと……。

つまり「今」を生きている、今、あなたに出会えていることも、その失敗が、そのタイミングが、ひとすじの道を作り、あなたに出会えているわけで……。だから「今」この瞬間、あなたに会えてよかったー、と、思えるのであれば、それはそれで大正解なわけです。

私はその子に「オレの場合、高校受験は3つ受けて3つとも落ちた。結局2次募集で高校へ入ったわけで、でも、その不合格がなければ、その高校へ入っていなかったわけで、そこでの大切な友だちにも出会えていなかったわけで、ということは、今思えば、不合格という失敗が、自分にとっての大切な出会いをプレゼントしてくれたことになるんだ。だから、今がしあわせならば、その失敗はしあわせを呼び寄せた失敗になるんだよね。オレの場合は、今がともしあわせなので、失敗と言われても失敗じゃなくなってる……。」

この時期、受験生たちは様々に複雑な心境を持ちながら生活をしています。楽観的な子もいれば、不安に覆われながら、「どうしよう」のオンパレードになっている子もいます。同じように、ご家族の方々も、赤の他人のような方もいれば、自分のことのように苦しめられている方もいらっしゃるかもしれません。その想いをすぐに口に出す方もいらっしゃるかもしれません。そつと心の内にわからないように隠したまま、我が子を見守っていらっしゃる方もいます。

子の想いと親の想いがすれ違ってしまいがちなのも、今の季節特有の現象かもしれません。

ご両親にお願いしたいのは、ただただ冷静な対処です。感情が徐々につのっていくのは当たり前かもしれません。しかし一番こころが折れそうになっているのは、当の本人です。「親として子に何ができるだろう。」と、悩まれている方がほとんどではないでしょうか。

私は思います。何もしなくて充分さ……。巣立ちの練習を彼らは始めています。自分ひとりが自分の力を試す時、自らが自らの考えで自らを動かすトレーニングを始めているだけのこと。すべてが命令調で、すべてが背中を押されながらの生き方から脱出しようとしているだけのこと。

あまりにも不合格への想いがつって、目の前にある、向かわねばならないものにもまったく気持ちが向かない子も多数出てまいります。ストレスがたまり、心が不安定になります。

受験に失敗する……。つまり「落ちる」……。私はこれを少しもマイナスだとは感じていません。大切なのは、逃げを打たず、真正面から向かおうとしているかどうかの「生きる姿」に価値があるわけで、受験に限らず、数々の失敗はひょっとすると思いがけない出会いを生じ、失敗していなければ感じることでできない貴重なものを受け取ることができると思っています。先ほどの私のMちゃんへの返事がそれです。

友の想い、家族の想い、人のぬくもりは失敗をしたその子の中へと染みわたって行きます。何よりも失敗したからこそ出会えた喜びは格別です。

ノーベル賞の山中教授はおみやげ用のチョコレートを1000個買ったそうです。それは失敗を重ねてきたからこそその「想い」へのお礼だと思えます。山中教授の今までの生き方が、「精一杯の失敗」の連続であったからこそ、周りの方々はその姿に打たれ、彼を放ってはおけないと手を差し伸べてきたのだと思うのです。

人が人をひきつける魅力は、「成功」の二文字を続けることではなく、失敗を恐れない、失敗を真正面からキャッチすることこそが真の魅力。そこにはゆるぎのない精一杯が漂っていることです。

まだまだ人生スタートしたばかりの受験生たち、初めての真正面現実突入ドラマ、それを怖いと感じない人はいません。でも精一杯のあなた方を優しい目で見守っている方々を感じて下さい。その方々は、あなた方に何を期待しているか、しっかりと感じて下さい。合格して、有名大学へ入り、有名一流の企業に就職することではないことを……。

もしそう思っている保護者の方がいらっしゃるすれば、それはただのエゴにすぎません。自分勝手な満足を子に託しているだけ……。子には子だけの人生があり、子だけの道を歩む権利があります。必死に巣立ちのトレーニングをしている姿に、感極まってただただ涙する姿が真の親の姿なのかもしれません。

さて、受験生諸君、精一杯に羽ばたく練習をなさっていますか。他との比較をすることもなく、先の不安を感じることもなく、ただ先を見つめながら羽ばたく練習をする。そして親鳥に引けを取らない姿で大空を飛ぶ姿こそ、ご両親に対する本物の恩返しになるんですよ。

さきほど「オレは今がともしあわせだから」と書いたのは、あなた方に会えたからなんです。さあ、精一杯の失敗をしましうね？ 出会い、大切に……。ありがとね。